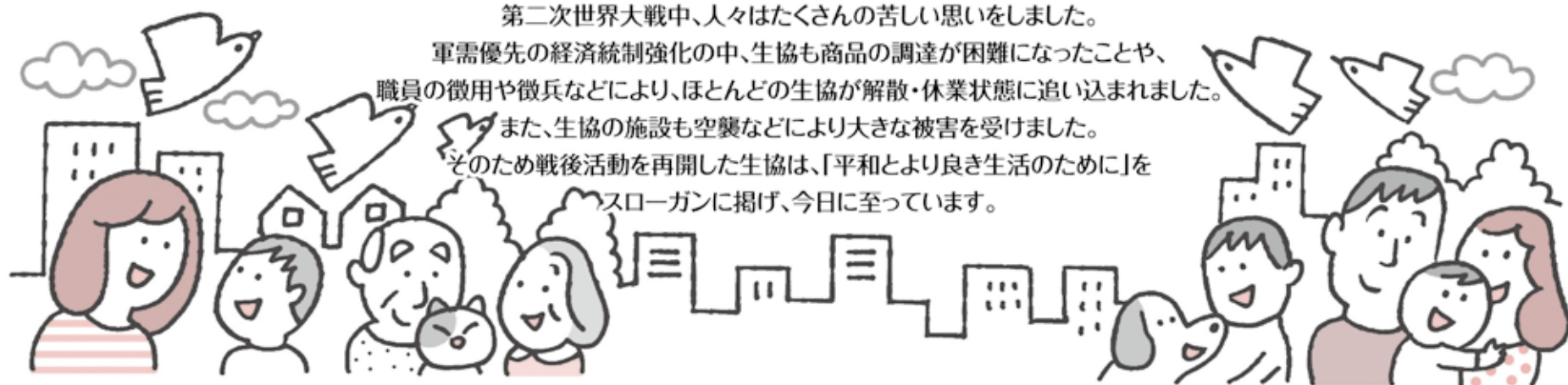


## なぜ、生協は平和への取り組みを行うのでしょうか？

第二次世界大戦中、人々はたくさんの苦しい思いをしました。  
軍需優先の経済統制強化の中、生協も商品の調達が困難になったことや、  
職員の徴用や徴兵などにより、ほとんどの生協が解散・休業状態に追い込まれました。  
また、生協の施設も空襲などにより大きな被害を受けました。  
そのため戦後活動を再開した生協は、「平和とより良き生活のために」を  
スローガンに掲げ、今日に至っています。



大阪よどがわ市民生協は、1977年に「よりよきくらしと平和のために」(創立宣言)事業と運動をすすめる消費者の協同組織として誕生しました。めざすことは、「笑顔ひろがる 豊かなくらし」です。平和があってこそ、食やくらしの豊かさが実現できると考えています。環境を破壊する戦争に反対し、核兵器をなくす運動などもすすめています。

## 2019年度上半期 平和への取り組み

6月15日(土)～7月6日(土)

場所：よどがわ生協エリア内各地域

### 国民平和大行進に参加

核兵器廃絶を訴えながら被爆地広島、長崎をめざして歩く「2019年原水爆禁止国民平和大行進」が5月から8月まで全国で取り組まれました。よどがわ生協の地域でも行われ、7月6日(土)の高槻・吹田の行進では、平和グループなどの組合員15人と役員43人が参加しました。蒸し暑い中でしたが、元気に地域のみなさんへ核兵器廃絶をアピールしました。



高槻



大阪市内



島本



7月26日(金)

場所：吹田市立内本町コミュニティセンター



### ピースカフェ ～みんなで歌おう 平和のうたを～開催

平和グループ主催で開催しました。組合員9人と平和グループ12人の計21人が参加し、歌の先生ご夫婦と共に楽しく歌を歌いました。参加者からは「大きな声で歌うことでリフレッシュできました。」「戦争当時に心を寄せながら、平和な今に感謝する気持ちでいっぱいになりました。」などの声が寄せられました。

8月5日(月)～6日(火)

場所：広島県広島市内

### ヒロシマ・ピースツアー 2019を実施

被爆地広島で被爆の実相を「学び・見て・感じ」、多くの人に知らせることを目的に毎年実施しています。今年も、組合員とご家族18人、事務局3人の計21人で参加しました。



〔1日目〕

午前中は、日本生協連主催の「ピースアクションinヒロシマ アニメと被爆の証言」に参加しました。今年もよどがわ生協元理事の矢野美耶子さんから、女学生当時(14歳)に被爆したお話を聞きました。午後は、全国の生協組合員が集う「虹のひろば」に参加した後、平和記念資料館に行き、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料などを見学しました。



〔2日目〕

広島市原爆死没者慰霊式と平和祈念式典に参加し、原爆が投下された午前8時15分に参加者全員で黙とうを行いました。式典後は、日本生協連による平和記念公園内の碑めぐりに参加し、原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑)、原爆の子の像、原爆ドームなどをボランティアさんの説明を聞きながら見学しました。午後は、壁や窓枠に原爆のキズ跡が残る江波山気象館を見学しました。



### 平和募金とヒバクシャ国際署名協力の呼びかけを実施

平和募金を、9月1回の注文書にて受付しました。また、同チラシにて「ヒバクシャ国際署名の「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」を呼びかけています。寄せられた署名を2020年に国連で行われるNPT(核不拡散条約)再検討会議に届けます。この会議には、よどがわ生協からも代表派遣します。署名は、現在も受け付けていますので、まだ署名されていない方はぜひご協力ください。



<https://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索



よどがわ生協公式 facebook ページ

よどがわさん(大阪よどがわ市民生活協同組合)



よどがわ市民生協は環境マネジメントシステムに基づいたとくくみを行なっています。

エコアクション21  
認証・登録番号0000727